

## 臨時報告第10号様式

平成22年9月13日

矯正局長  
殿  
東京矯正管区長

静岡刑務所長

## 自殺事故報告

事故の概況	<p>平成22年9月7日(火)午前零時19分ころ、当所 [REDACTED] (単独室)において、夜間巡回職員法務事務官看守部長 [REDACTED] (以下「[REDACTED] 看守部長」という。)が同居室を巡回視察したところ、事故者が食器口の鉄格子にタオルを輪状にし、[REDACTED] で垂下しているのを発見したため、非常ベルで処遇部門に急報し、急報で駆けつけた夜勤監督者法務事務官副看守長 [REDACTED] とともに開扉の上、事故者の状況を確認したところ、意識、自発呼吸及び拍動が認められなかったことから、直ちに救急処置を実施するとともに、監督当直者法務事務官看守長加藤治弘が同日午前零時29分、救急車の出動を要請した。</p> <p>同日午前零時52分、[REDACTED] に搬送したが、午前1時11分、同病院医師により死亡が確認された。</p>	
	<p>1 発生年月日 平成22年9月7日(火)      2 発見時刻 午前零時19分ころ      3 場 所 静岡刑務所 [REDACTED] (単独室)      4 方 法 タオル([REDACTED])を縦に裂いて1本のひも状に結び、その一端を食器口上の鉄格子に縛り付け、もう一端を輪状にして結び、その輪の中に首を入れてい首したもの。</p>	
事故の状況	5 経 緯	[REDACTED]
		<p>なお、午前零時5分ころ、[REDACTED] 看守部長が [REDACTED] の巡回を実施し、事故者居室内を視察した際には、事故者が [REDACTED] のを確認したが、その後、同時に19分ころ事故者居室内を視察した際に、タオルを用いてい首していたのを発見した。</p>
6 使用器具	タオル([REDACTED])	
	該当なし	
	該当なし	
7 逮捕制圧等の状況		
8 事故による犯罪		
9 その他	特記事項なし	

事 故 者	1 事故者の種別	自殺事故の当事者 刑事被告人
	2 身 分	
	3 氏 名	
	4 生年月日	
	5 罪名又は事件名	
	6 刑名・刑期	該当事項なし
	7 刑の起算日又は入所日	該当事項なし
	8 刑の終了日	該当事項なし
	9 犯数	
	10 制限区分及び優遇区分	該当事項なし
	11 所内における行状	
	12 国籍	
	13 住所	
	14 特殊被収容者の有無	
	15 その他	該当事項なし
職 員 の 状 況	1 配置及び勤務状況	被収容者の就寝時間帯については、 が、 巡回している。
	2 監督方法	監督当直者、副監督当直者及び夜勤監督者の巡回による。
	3 職責処理の状況	該当事項なし
事 態 収 拾 の 措 置	1 職員の非常招集	自殺事故発生の一報を受け、関係職員に臨時登庁を要請し、職員 20 名が登庁した。
	2 非常配置箇所数、時間及び人員	同日午前零時 46 分、戒護者 [ ] が救急車に同乗して当所を出発し、同時 52 分、[ ] に到着した。
	3 管区機動警備隊出勤の有無	該当事項なし
	4 警察官署への依頼	該当事項なし

事故の原因・動機	1 事故者の動機	
	2 施設側の欠陥	該当事項なし
事故者に対する措置	1 懲罰	該当事項なし
	2 事件送致	該当事項なし
改善事項	1 改善した事項	平成22年9月7日付け所長指示第42号「自殺事故の再発防止について」を発出し、[REDACTED] 刑事被告人に対して綿密な動静観察を行い、同種事故の再発防止を期するよう周知徹底させた。
	2 改善すべき事項	該当事項なし
その他参考事項	遺族関係	[REDACTED]